

◆事業者向け事業の強化
 効果的な事業活動に繋げる
 プラットフォームに連動した事業展開

◆プラットフォームの強化
 「十勝型フードシステム」の根幹となる
 オール十勝の推進力アップ

◆消費者の実感度強化
 日常生活の中で「フードバレーとかがち」に
 触れて参加できる“しかけ”づくり

事業者向け

農林漁業を成長産業にする

良質堆肥の製造、堆肥活用による土づくりや土壌分析に基づく適正な施肥管理を促進するとともに、十勝型GAPの導入を促進するなど、安全安心で良質な農畜産物の生産を推進する。

＜とかがち農家6千戸で食の安全・安心に取り組む＞

- 十勝型生産技術基盤の形成 (1,610千円)

＜安全でおいしい農畜産物の生産を推進＞

- 有機資源循環システムの構築 (5,695千円)
- 環境保全型農業の拡充 (10,674千円)

＜新品種・新技術を活かす＞

- 技術活用促進事業 (345千円)
- ICT農業の推進 (150千円)
- 優良後継牛確保対策事業 (390千円)

＜畑を科学し、土を元気にする＞

- 土壌分析の促進 (2,835千円)
- 自給飼料向上対策飼料分析調査委託事業 (5,000千円)

食の価値を創出する

原材料の供給拠点に加え、加工を通じた付加価値の高い生産拠点として成長していくため、食の安全性向上や魅力ある商品開発、ブランド力の向上などを推進する。

＜十勝のブランド力を高める＞

- 黒毛和牛生産振興事業 (5,053千円)
- 地域ブランド向上研究支援事業 (1,000千円)

＜食の安全性を高める＞

- フードバレーとかがち人材育成事業 (5,693千円)

＜魅力ある商品を開発する・食の付加価値を高める＞

- ものづくり総合支援事業 (6,230千円)
- 企業立地促進事業 (23,415千円)

＜フードバレーとかがちで企業と生産者を結ぶ＞

- 本州食品関連企業等と生産者の連携促進 (1,834千円)

＜企業へ成長資金を提供する＞

- ニューフロンティア資金の提供 (192,154千円)

＜期待の小麦の新品種をひろめる＞

- 十勝産小麦の付加価値向上・普及拡大 (1,600千円)

十勝の魅力を売り込む

とがちの物産の販路拡大や観光の魅力を売り込むため、道内、国内、海外において、イベントへの出展や観光物産セミナーの開催などによるPR事業を推進する。

＜海外展開のリーディングプレイヤーを育てる＞

- 市場開拓・販路拡大事業 (2,835千円)

＜とかがち農業・農畜産物の魅力を売り込む＞

- とがちまるごとPR事業 (1,460千円)

＜とかがち観光を世界に売り込む＞

- 東アジア観光プロモーション事業 (4,500千円)

＜とがちを首都圏にまるごと売り込む＞

- 「十勝」首都圏イメージアップキャンペーン (4,000千円)
- とがち首都圏プロジェクト事業
- とがちイメージアッププロジェクト事業 (17,000千円)

＜とがち観光を北海道に売り込む＞

- とがち魅力発信プロジェクト事業 (449千円)
- フードバレーとかがちフェスティバル2013 (6,000千円)
- 幸福駅再生プロジェクト事業 (33,000千円)

＜食によるまちづくり交流＞

- フードバレー交流 (700千円)

プラットフォーム

国際戦略総合特区を活用しながら、事業者向けの情報提供やマッチング、人材育成など、フードバレーとがちのプラットフォーム機能をしっかりと果たし、新商品の開発や販路拡大などを加速させる。

＜プラットフォーム機能の整備＞

- コーディネート機能の発揮 (10,076千円)

- 住民向け情報発信 (1,185千円)

- ・ 地元情報誌等と連携した住民向け情報発信
- ・ パンフレットの作成(住民向け・生産者・中小企業向け)
- ・ フードバレーとがち推進協議会HPによる情報発信
- ・ フェイスブック、メールマガジンでの情報発信

- 十勝産農畜水産物・加工品の販路拡大 (2,866千円)

- ・ ホテル向け・外食向けレシピの開発、レシピ集の作成
- ・ 十勝型物流システムの調査研究

- フードバレーとがちロゴマーク商標登録 (1,973千円)

- 食と環境・国際フォーラム2013 (1,500千円)

＜国際戦略総合特区のメリットを活用する＞

- 国際戦略総合特区の活用 (5,392千円)

- ・ フード特区機構負担金(4,834千円)
- ・ 農業用貨物自動車車検伸長実証事業(558千円)

＜未来を担う人を育てる＞

- フードバレーとがち講演会 (193千円)

- フードバレーとがち人材育成事業 (再掲)

- 地域産業の未来を切り拓く人材育成事業 (10,000千円)



フードミーティング



善祥園十勝ビーフカレー

消費者向け

消費者（地域住民）に日常生活でフードバレーとがちに対する理解を深める機会を提供するとともに、地産地消の取り組みなどを推進し、地元からフードバレーとがちを応援する機運を高める。

- フードバレーとがちへの住民参加の促進 (3,080千円)

- ・ 地元スーパー等でロゴマーク入地元産表示
- ・ 管内イベント連携事業
- ・ 地元情報誌等と連携した住民向け情報発信(再掲)
- ・ パンフレットの作成(住民向け 再掲)
- ・ ホテル外食向けレシピ開発、レシピ集作成(再掲)



本別町きらめきフェスティバル



フードバレーとがち